東御市社会福祉協議会（長野県）

多様な地域連携による就労支援

多様な地域連携による
就労支援ワークショップ

1．基本情報

①自治体・団体名	**社会福祉法人東御市社会福祉協議会**
②住所等	〒389-0502　長野県東御市鞍掛 197　総合福祉センター内
③圏域の人口、高齢化率	人口：29,561 人　高齢化率：31.0%　※令和 4 年 10 月現在
④生活困窮者自立支援法に基づく事業の実施状況	自立相談支援事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業、子どもの学習・生活支援事業（受託）
⑤主な事業・活動（④以外）	・生活困難・困窮者への支援事業（各種資金貸付、食料支援、子どもの居場所、仕事・生活サポーター、協力事業所登録推進、単身者・身寄りのない人の課題支援他） ・権利擁護支援事業（日常生活自立支援事業他） ・結婚相談事業 ・地域ささえあい活動の支援・推進（小地域福祉活動他） ・生活支援コーディネーター事業 ・共同募金配分事業 ・福祉教育の推進 ・ボランティアセンター事業 ・居宅介護支援事業 ・共同募金会事業 ・日本赤十字社事業等

2．取り組みの経緯・背景

・2015 年に自立相談支援事業を受託し「まいさぽ東御」開設後、個別の相談を丁寧に取り組みながら、県社協独自事業のプチバイトの活用により社会福祉法人や農業事業所等とのつながりが生まれ、協力企業事業所の登録・ネットワーク・研修の実施、市民による伴走支援ボランティアなど多様な取り組みを進めてきた。
・新型コロナウイルスの影響により、相談者が急増するとともに相談者層が変化し、多様で複雑化した課題が顕在化したことを踏まえ、行政・事業所・市民との一層の連携を進めてきた。

3．取り組み概要・実施体制

■まいさぽ東御の協力事業所（まいさぽ×事業所）
・働きたい人が働きやすい地域を目指して協力事業所の登録及びネットワーク化
・協力事業所の案内をパンフレットにして見える化

・協力事業所に向けたフォーラムや学習・交流会の開催
・事業所にて対しては、一方的なお願いではなく困りごとを聞き取り解決策を提案したり、就労する人の情報を適宜共有し合ったりと協力関係を緩やかに保ち続けることを大切にしている。

■就労準備支援事業「くる me ここから」（まいさぽ×事業所×ボランティア×多様な主体×行政）

・月 2 回の集団・個別プログラムと週 1 回の作業を組み合わせ、自己覚知を促す内容からメンバー間の交流や社会との接点が持てる内容まで段階的に成長できるように展開している。
・時には相談者や卒業した人にも協力いただき支える側となってもらっている。
・就労体験や職場見学は協力事業所で受け入れをしている。

■市民による伴走型支援「仕事・生活サポーター」（まいさぽ×市民）

・市民によるサポーターは、就労準備等の対象者に対しマンツーマンで寄り添い、就労体験や生活相談に同行したりと友人のような関係性で本人をサポートしている。

■地元高校との連携、キャリア教育（まいさぽ×高校）

・特例貸付にて地元高校に通う世帯の相談が急増したことから、気になる世帯の相談等学校との日常的な連携を強化するとともに、学校と協議のうえ貧困の連鎖防止のための将来に向けた職業選択についてキャリア教育を実施した。

■多様な地域連携による就労支援ワークショップ（まいさぽ×行政×事業所×市民）

・協力事業所や市民の協力は増えているものの就労支援の具体的な手法の手詰まり感や、コロナ禍による相談者の増加や相談者層の変化により、多様な地域連携による就労支援ワークショップを開催。
・参加者は、相談当事者、行政（生活困窮、高齢、障害、子ども、教育委員会、商工観光、農林、消費生活）、ハローワーク、商工会、障害者就労支援事業所、協力事業所、保護司、県社協、仕事・生活サポーター、高校　等。
・ワークショップでは、就労や仕事で悩みを抱える人の理解や相談支援の活動や事業のイメージ、就労支援の目指す目的について参加者全員で考えていく。
・2 回のワークショップで見えてきた、支援対象者とニーズ、就労に必要な支援、就労支援に期待したいこと、めざしたい東御市の姿をもとにそれらを実現させるため、まずは仕事や事業所と本人のミスマッチを防ぐための新たな案内チラシや紹介ツールを作成した。

4．成果や課題、今後の展開

■今後の展望

・行政の多様な部署とニーズに対する理解と取組みを協働していくこと。
・気軽な就労体験や一般的な履歴書や面接などがいらない就労の促進、仕事の切り分けによる短時間就労の推進など、就労準備・就労体験を核とした多様な就労の形を引き続き模索していきたい。
・就労支援からはじまるまちづくりの視点を大切に、行政×事業所×一般市民の協働や重層的支援体制整備事業の活用、まいさぽでの取組みの見える化、そして一つひとつの事例に丁寧に向き合いそこからネットワークを作っていくなどと展開していきたい。